



世田谷区は区内および隣接に17の大学・学部があります。各大学の専門性や特色を活かし、区内の様々な課題に区や地域と協働して取り組んでいます。ここでは昭和女子大学の紹介と、地域と協力した取組みをご紹介します。

昭和女子大学(理事長・総長 坂東真理子)は、世田谷区と2015年に包括協定を締結しています。あらゆる分野でグローバルに活躍できる力を備えることを教育の目的としており、グローバルな環境だけでなく、企業や自治体とのプロジェクト学修や、キャリア教育・支援を充実させています。

昭和女子大学と海外の大学、2つの学位を取得する「ダブル・ディグリー・プログラム」



ダブル・ディグリー・プログラムは、昭和女子大学で3年、海外の協定校で2年、計5年間学び、2つの大学の学位を取得する制度です。

中国の国家重点大学である上海交通大学との間で2013年度にスタートし、現在は上海交通大学(中国)、淑明女子大学校・ソウル女子大学校(韓国)、テンプル大学ジャパンキャンパス(米国)、クイーンズランド大学(オーストラリア)の5大学とプログラムを実施しています。60人以上のダブル・ディグリー・プログラム修了生を輩出しています。

2022年5月末、テンプル大学のダブル・ディグリー・プログラム1期生4人が学士号を取得

隣接するテンプル大学ジャパンキャンパスと連携を深めています。日本にいながらアメリカの大学で学ぶことができる授業履修や両大学の学生が履修できる共同授業、授業以外でもグローバルな交流が盛んです。

働きながら修士号を取得できる「1年制・男女共学 社会人向け大学院」

社会人に向けたリスキリングにより、多様な社会課題を解決する高度な専門職人材を育成します。平日夜間と土曜日開講やオンラインによるリモート授業、弾力的就学期間など柔軟な就学を支援しています。

■ 2023年4月開設！ 専門職大学院 福祉社会・経営研究科 福祉共創マネジメント専攻

専門職リーダー（マスター消費生活アドバイザーを含む）、管理者、公務員や保健・医療、福祉施設等の経営者、起業家を育成します。

募集対象：◆保育・福祉・介護施設の施設経営者、実務担当者（リーダー）

◆介護職・介護支援専門員・相談員 ◆保育士 ◆医療・福祉関連専門職

◆企業・行政において消費関係実務、企画、経営を担う方 ◆消費生活アドバイザー取得者

■ 生活文化研究専攻「アーキビスト」養成プログラム

公文書館をはじめとするアーカイブズ機関において働く専門職員など、記録の選別・管理・保存を担う専門職であるアーキビストを養成します。修了者は、修士号取得のほか、アーキビストの審査に必要な指定大学院での科目・単位修得、国立公文書館「認証アーキビスト」の要件A「知識・技能」の取得、昭和女子大学認定アーキビスト（1級）を取得することができます。

■ 言語教育・コミュニケーション専攻「英語教育専修コース」

中学校・高等学校教諭 一種免許状（英語）取得者対象のコースです。英語教育に関する理論と指導実践力を備えた中学・高校の英語教員を養成します。修士号取得のほか、中学校・高等学校教諭専修免許状（英語）が取得することができます。また、国内外で日本語教育、英語教育の専門家をめざす人、および言語学、日本語教育学、英語学、英語教育学関係の研究者をめざす人も対象としています。



昭和女子大学

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

swu.ac.jp

〒154-8533 東京都世田谷区太子堂 1-7-57
東急田園都市線「三軒茶屋」駅下車・徒歩7分

国際学部 国際学科・英語コミュニケーション学科 グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科・会計ファイナンス学科
人間文化学部 日本語日本文学科・歴史文化学科 人間社会学部 心理学科・福祉社会学科・現代教養学科・初等教育学科
食健康科学部 健康デザイン学科・管理栄養学科・食安全マネジメント学科 環境デザイン学部 環境デザイン学科

世田谷地域密着のプロジェクト型学修を紹介します

昭和女子大学 × リコーブラックラムズ東京



昭和女子大学と株式会社リコーの「パートナーシッププロジェクト」が2年目を迎えました。世田谷区をホストタウンとするラグビーチーム・リコーブラックラムズ東京と協働し、駒沢オリンピック公園陸上競技場のホストゲームを中心に、ラグビーを通じて地域を盛り上げようとしています。世田谷みやげと連携したオリジナルビールが大好評。グッズ開発やSNSでの情報発信などを通じてファン拡大を目指してトライします。

写真) ブラックラムズの選手も参加して秋桜祭(学園祭)でラグビー体験会を実施(2022年11月12日・昭和女子大学グラウンド)

昭和女子大学 × サミット × スフィーダ世田谷FC



2022年10月、昭和女子大学と株式会社サミット、スフィーダ世田谷FCは、連携・交流に関する協定を結びました。グローバルビジネス学部会計ファイナンス学科の高木ゼミでは、2019年から行っている「SDGs地方創生プロジェクト」の連携先の一つである千葉県香取市の耕作放棄地で米や野菜を育て、三軒茶屋駅前広場などで販売してきました。2022年からは世田谷をホームタウンとする日本女子サッカーリーグのスフィーダ世田谷FCの試合の際やサミットストア野沢龍雲寺店で野菜販売を行っています。

写真) 左から スフィーダ世田谷FC代表 稲田能彦氏、昭和女子大学 理事長・総長 坂東真理子、サミット株式会社 代表取締役社長 服部哲也氏

世田谷地域での社会活動



共生社会の新しい担い手として 地域社会に貢献

2005年に設立した特定非営利活動法人NPO昭和は、昭和女子大学が全面的にバックアップし、14年にわたり保育園、学童保育、ひろばなどの子育て支援事業と、世田谷区立男女共同参画センターの運営を行ってきました。より持続的に活動し、社会貢献の活動の幅を広げることを目指して、2020年4月から社会福祉法人共生会SHOWAとしてスタートしました。

